

専 門 基 礎 分 野

【目 的】

専門分野の基礎となる幅広い人間の理解と保健医療福祉について学び、看護に活用できる力を養う。

【目 標】

1. 人体の正常な構造と機能を学び、看護ケアに必要な日常生活行動の仕組みと意味を理解できる。
2. 人体の構造や機能が障害された時の人体の変化と回復過程を理解し、日常生活行動への影響を考慮することができる。
3. 保健医療福祉に関する基本概念、関係制度、関係する職種の役割を学び、連携・協働の必要性について理解できる。
4. 人々が生涯を通じて、健康や障害の状態に応じて社会資源の活用を支援できるように基礎的知識を養う。

【構成および計画】

<講義>

	授業科目	単位数	時間数	学年別計画時期			備考
				1年	2年	3年	
人体の構造と機能	形態機能学Ⅰ 身体の構造と機能の基礎	1	30	1 (30)			
	形態機能学Ⅱ 脳神経系・内分泌系の構造と機能・生体の防衛機構	1	30	1 (30)			
	形態機能学Ⅲ 動く・息をする・話す聞く見る・お風呂に入る・眠る	1	30	1 (30)			
	形態機能学Ⅳ 食べる・トイレに行く・性の仕組み	1	30	1 (30)			
	形態機能学Ⅴ 日常生活行動と生理的機能	1	30	1 (30)			
	生化学	1	30	1 (30)			
	小 計		6	180	6 (180)		
疾病の成り立ちと回復の促進	疾病の発生と病的変化	1	30	1 (30)			
	感染症と微生物	1	30	1 (30)			
	疾病と治療Ⅰ 呼吸器・循環器・腎泌尿器	1	30	1 (30)			
	疾病と治療Ⅱ 自己免疫・内分泌代謝・消化器	1	30	1 (30)			
	疾病と治療Ⅲ 脳神経・運動器	1	30	1 (30)			
	疾病と治療Ⅳ 感覚器・血液リンパ・女性生殖器	1	30		1 (30)		
	薬理学	1	30	1 (30)			
	治療論Ⅰ 放射線・手術・麻酔・検査	1	30	1 (30)			
	治療論Ⅱ 栄養学・リハビリテーション	1	30		1 (30)		
	小 計		9	270	7 (210)	2 (60)	
健康支援と社会保障制度	公衆衛生と健康支援	1	15		1 (15)		
	医療と倫理	1	15		1 (15)		
	社会保障と制度	1	15			1 (15)	
	社会福祉活動	1	15			1 (15)	
	医療と法律	1	15			1 (15)	
	看護と医療過誤	1	15			1 (15)	
	小 計		6	90		2 (30)	4 (60)
合 計		21	540	13 (390)	4 (90)	4 (60)	